

2016 國際體育教學研討會 レポート International Sports Teaching Symposium in Taiwan

2016年8月2日～8月5日
台湾 淡江大学（新北市淡水區專路 151 號）



2016 國際體育教學研討會（International Sports Teaching Symposium）が、8月2日～5日に台湾の淡江大学で開催されました。日本からも4名が訪台し、各々にそれぞれのテーマでワークショップを行いました。

コース名	講師
體操遊戲（Gymnastics and Game）	古川 善夫（北海道教育大学名誉教授）
體適能 APP 組合應用（Possibilities of the Use of Fitness Application in Physical Education Classes）	佐藤 豊（桐蔭横浜大学教授）
球類教學策略（Teaching Strategies with Balls）	清田 美紀（東広島市教育委員会指導主事）
應用ICT於體育課（Practice of the PE Using the ICT）	木原 慎介（東京国際大学講師）

この他にも、各国の講師により籃球（Basketball）、體育教學（PE Teaching）、體感教育（Body Domino）、水中有氧體適能（Land / Using the Water: Basic Steps and Combinations）、水肺潜水（Scuba Diving）、兒少田徑（Kid's Athletics）、桌球（Table Tennis）、室内五人制足球（Futsal）、阻力訓練（Resistance Training）、初級衝浪（Surf for Beginners）、創意體育教學（Creative Physical Education Teaching）、動作教育（Movement Education）、跳繩（Skipping / Jumping Rope）、瑜珈（Yoga）、足球三部曲（Soccer）、社交舞（Social Dance）、球類概念遷移（Concepts Transfer of Ball Games）が行われました。



このシンポジウムは、台湾の先生方にとっては、免許状更新講習の対象となる研修の一つであるとのことでした。ワークを通して、多様な指導方法を学べる機会があることは、日々の授業充実につながり、とても有意義な研修になっていることを参加されている先生方の姿から感じました。大学との連携をうまく図ることにより、世界各国の実践者の取組を知る機会があることは、教員の資質向上を図る上でもとても有効ではないかと感じました。

余談ですが、体づくり運動のアプリが台湾の先生方に非常に好評で、ぜひ台湾版アプリを・・・と熱望される先生方がいらっしゃいました。台湾進出もそう遠くないかも・・・

一生懸命に勉強しようとする参加者（台湾国内各学校の先生方）、オリジナリティあふれるワークショップを展開する各国の講師の方々、心あたたかいサポートを提供する台湾スタッフの方々すべての人々が、言葉の壁を超えて笑顔で汗をかき交流することができたのも、1つには運動やスポーツがもつ魅力によるものと再確認できました。そして、歴史、伝統、文化などを含め台湾という国の雰囲気がかうさせてくれたのかもしれない。日本に戻り、またそれぞれの立場で体育やスポーツを軸として社会に貢献できればと思います。謝謝台湾！

（文責：木原、清田）

